

〈資料〉「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト

2023年度「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト報告

柿内真紀・大谷直史

はじめに

教員養成センターでは、2023年度後期に、今年度で通算10年目となる「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト（2023年度 学長裁量経費）を企画実施した。プロジェクトは以下のよう
に、〈学び〉、〈遊び〉、〈つなぐ〉の3つで展開している。

〈学び〉 現職教員の方々から、授業づくりやクラスづくりの極意を学ぶこと、教職に就いた後に続く、教員としてのさまざまなキャリア形成のあり方を学ぶことを目標として、授業づくり・学級づくりに力量のある現職教員等を講師に招いた「学びの教室」および、採用後3～4年の若手教員等を講師に招き、教職への不安や希望についてざっくばらんに語り合う「学びの座談会」（9年目）を実施した。なお、若手教員はすべて本学出身である。これらのプログラムでは、教職関連授業と連携した内容やそれらの授業を補完する企画を組み、目指す教師像を参加学生が模索する機会とした。また、本学出身の現職教員を講師に含むことによりロールモデルの提供も目指したものである。講師の招へいについては、鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会と連携している。特別編として実施した「農業高校を知る」は、高校側からの要望もあり実施することとなった。

「学びの教室」では、今年度も大学の授業では実際の教育実践を学ぶ機会が少ない「学級経営」をテーマとして設定し、すべての学校種の現職教員を講師に招いて実施した。

「学びの教室」（全6回）今年度のテーマ：現職教員から学ぶ「学級経営」 参加者数のべ287人

第1回 10月24日（火）5限 場所：教員養成センター
講師：奥田 公直 主幹教諭（鳥取県立鳥取養護学校）

第2回 10月30日（月）5限 場所：教員養成センター
講師：黒岩 健太郎 教諭（岩美町立岩美中学校）

第3回 11月 1日（水）5限 場所：教員養成センター
講師：西本 晶 教諭（倉吉市立西郷小学校）

第4回 11月16日（木）5限 場所：共通教育棟 C21
講師：赤井美紀子 主幹教諭（東みずほ幼稚園）
牧田 圭子 教頭（認定こども園みずほ幼稚園）

特別編（農業高校を知る） 11月20日（月）5限 場所：教員養成センター

講師：若林 安徳 校長（鳥取県立鳥取湖陵高等学校）

岩本 孝治 校長（鳥取県立智頭農林高等学校）

竹内 善一 校長（鳥取県立倉吉農業高等学校）

坪倉 寿樹 校長（鳥取県立日野高等学校）

第5回 12月 8日（金）5限 場所：共通教育棟 A20

講師：富林 紀之 教諭（鳥取県立鳥取東高等学校）

（コーディネーター：教員養成センター特任教員 藤田則恵）

「学びの座談会」(全1回) 先輩教師(若手教員)と語る会 参加者数12人

12月20日(水)5限 場所:教員養成センター
講師

中川 史彬 教諭(鳥取市立美保南小学校)
濱部 智絵 教諭(鳥取市立桜ヶ丘中学校)

(コーディネーター:教員養成センター特任教員 藤田則恵)

<遊び> ルールの範囲内でより効率的な手段を用いて目的を達成するという形式をとる以上、ゲームと学校での学習は似ている。今年度も、プログラミング教材作りをテーマとして、教職実践演習を受講している学生と共に、教材としてのボードゲームを制作し、発表した。昨年度の米子市に引き続き、今年度は鳥取市のボードゲームカフェ経営者から、さまざまなボードゲームのシステムを学んだ上で、ボードゲームによるプログラミング教材を作成、発表した。2つのゲームが提案され、実際に遊びながら意見交換を行った。



また、本を入りに教職志望者の視野を広げ、学習のデザインやアイデアの幅をひろげていくことを意図した「ブッククラブ」を、今年度も1年次の教職入門に該当する授業内に組み込んで実施した。内容は、「教育実習で児童・生徒に読んだ本をもとに語る」ことを前提に小グループで同じ本を読み、各自がテーマを決めて発表し、コメントを出し合い語り合うというものである。取り組みを実施するにあたっては、「読む本リスト」(115冊)を作成して提示し、このリストからグループで選書することとした。毎年度更新しながら作成しているこのリストに掲載されている本は、教員養成センターのライブラリーで閲覧できるようにしている。

「遊びの教室」(全2回) 参加者数のべ16人

第1回 12月4日(月)5限

講師:吉川 市朗 さん(ボードゲームカフェ「ボドゲのム」代表)

第2回 12月25日(月)5限

「教職実践演習」受講者によるプログラミング教材発表

(コーディネーター:教員養成センター教員 大谷直史)

「ブッククラブ」(「人間と教育～教職入門」授業内)対象授業受講者数135人

(コーディネーター:教員養成センター教員 柿内真紀)

<つなぐ> 子どもたちが育っていく社会は多様化、グローバル化している。そこには、地域ごとの課題もあれば、ある社会全体、地球全体の課題もある。そして、学校は社会の変化を反映する。学校には不登校や非行、虐待や発達障害、異なる文化など、生活上のさまざまな課題が持ち込まれる。そうしたことを前提にしながら、これからの社会ではたらく教員として、どのようなつながりを持つのか/つながるのかを考える機会として、毎年度<つなぐ>を企画

している。

今年度の「つなぐ教室」は、①教職への道のりを知り・考える機会として、教員を目指す学生を対象にした準備講座、および、鳥取県ではどのような教員が求められているのかをテーマに鳥取県教育委員会主査を招いた講座、②不登校生徒支援および学校における教育相談に携わる方々を招いた講座、③「ローカルとグローバルをつなぐ教員のしごと」として、海外日本人学校等（在外教育施設）経験教員を講師に招き、グローバル人材としての教員（または、グローバル人材を育てる教員）の観点から教員のキャリア形成を促すことを念頭においた講座、④さまざまな学校を知る試みとして、鳥取県に2023年10月に設置された夜間中学（鳥取県立まなびの森学園）について知る講座を開催した。③は今回で10年目となり、主に今年度帰国した、該当する鳥取県内の現職教員等を招くことを継続している（なお、第4回は別の講師による講演を企画していたが、都合により中止となったため第2回の録画映像を用いた）。

また昨年度からの試みとして、鳥取県教育委員会とともに「トークプログラム（CHA³プログラム）」を実施した。このプログラムは、地域の大人、大学生、中学生がグループになり、働き方や生き方などのテーマについて自由に話し合うものである。中学生が、社会への興味・関心を高めることを目的とし、大学生が中学生にとってのロールモデルとなることも期待される。参加に当たっては鳥取県教育委員会事務局社会教育課による事前研修もおこなわれた。本学からは主に4年次の必修「教職実践演習」の中等クラス受講者が参加した。

「つなぐ教室」（全6回）参加者数のべ400人

第1回 10月19日（木）3限 「教員採用試験と教員研修」

講師：亀井 修平 主査（鳥取県教育委員会事務局 教育人材開発課）

新井 紀子 課長（鳥取県教育センター 教育企画研修課）

第2回 11月10日（水）5限 「ローカルとグローバルをつなぐ教員のしごと（その1）」

講師：田村 卓真 教諭（鳥取市立美保小学校、前香港日本人学校）

第3回 11月28日（火）5限 「いつでも・どこでも・だれとでも」

～笑顔 × あいさつから始まるコミュニケーション～

講師：大部 由美 センター長（米子翔英学園はぐくむセンター）

第4回 11月29日（水）5限 「ローカルとグローバルをつなぐ教員のしごと（その1）」

（録画）

講師：田村 卓真 教諭（鳥取市立美保小学校、前香港日本人学校）

第5回 11月30日（木）5限 「フリースクールでの不登校支援」

講師：青山 太郎 校長（教育支援センター「すてっぷ」）

第6回 12月13日（水）3限 「夜間中学について知る」

講師：山口 京子 校長（鳥取県立まなびの森学園）

（第5回 コーディネーター：教員養成センター教員 石本雄真）

（第1・2・3・4・6回 コーディネーター：教員養成センター特任教員 藤田則恵）

「トークプログラム」（全3回）参加者数のべ63人

第1回 10月29日（日）鳥取市立東中学校（中学生122名、大学生34名、地域の大人40名）

第2回 11月18日（土）鳥取市立高草中学校（中学生62名、大学生14名、地域の大人19名）

第3回 11月25日（土）鳥取市立河原中学校（中学生35名、大学生15名、地域の大人10名）

（コーディネーター：教員養成センター教員 大谷直史）

柿内真紀（鳥取大学教員養成センター長）※「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト代表

大谷直史（鳥取大学教員養成センター）